

令和6年度 プロジェクト 活動報告書

作成:札幌市保健福祉局障がい保健福祉部 東 如恵

プロジェクト名	発達障害児者地域生活支援モデル事業
取組期間	令和6年6月～令和7年3月
令和6年度の 重点取組	1. 札幌版集中的支援試行プログラムの実施 2. 強度行動障害支援者向け研修会の実施 3. 企画・推進委員会の実施
活動概要	1. 札幌版集中的支援試行プログラムの実施 市内障害福祉サービス事業所等から、強度行動障がいをもつ行動関連項目 10 点以上の事例を募集。その中から選定した2事例について、概ね3カ月かつ月4回を目安とし、アセスメントと支援方法の整理に向けた取組(集中的支援)を実施。 2. 強度行動障害支援者向け研修会の実施 (1)7/31 自閉症支援の基本的な考え方と教育・医療・福祉との連携について (2)12/7 強度行動障がいをもつ方が安心して暮らせる社会を目指して～集中的支援と虐待防止の観点から考える～ 3. 企画・推進委員会の実施 (1)札幌市内における強度行動障がい支援体制整備に係る検討実施。 (2)今年度の事業計画・実施経過・結果の報告と検討。 (3)集中的支援実装に向けての検討
抽出された課題	試行プログラムの実施により、2事例とも対象者の課題となっていた行動の改善や、事業所職員の支援方法の変化といった効果が見られた。このような効果が出た理由として、以前から機関支援を利用したり、積極的な研修受講、現場リーダーを中心としたチームができているなど、事業所の体制が整っていたことがあげられる。また、集中的支援は、あくまで支援を考えるきっかけであり、すべての課題が解決する訳ではない。 このことから、効果的に集中的支援を実施するには、その前後が重要と考える。前段階として、研修等を通じた基礎知識の獲得、チームによる支援体制、管理者等上司の理解といった事業所の体制整備。また、集中的支援実施後も続く現場の支援に対し、広域的支援人材から地マネ、中核的人材(現場リーダー)へのバトンタッチの方法、役割分担などフォローアップ体制の整理が必要である。
課題解決に向けた 次年度の取組予定	札幌市では、R8 年度から集中的支援加算の実装を目指す。その準備として、 ①現モデル事業 PT を集中的支援の実装を含め検討する場に再編 仮称:集中的支援(モデル・実装)PT ②課題として抽出した、集中的支援前後の体制整備等を含めた実装に向けた体制づくりをテーマとしたモデル事業を実施予定。